

ハワイ・サマー・インターン生との交流会

平成29年6月20日（火）にハワイからのインターン生の学校訪問があり、海洋技術科2年生の19名が交流を行いました。

この行事は、平成18年度から行っている「愛媛県とハワイ州の友好親善を推進するとともに国際交流・協力分野に貢献しうる人材の育成」活動の一環で、5月～8月の夏休みを利用し、愛媛県と姉妹提携をしている米国ハワイ州から、短期インターン生として大学生等を受け入れて実施しているものです。

今年度は、ハワイ大学4年生のコートニー・エリザベス・チョイさんと、同じくハワイ大学4年生のカラ・サユリ・ナカガワさん、そして、愛媛県国際交流協会の村上太郎さん、大森典子さんが来校されました。

2時間目の海洋技術科2年生の英語の授業で交流が行われ、その後、えひめ丸慰霊之碑への献花が行われました。

授業での交流は、終始和やかなムードの中、ハワイ文化の紹介や実演・体験等、笑顔のあふれる充実した1時間となりました。

以下はその交流の様子です。



最初と最後に3名の代表生徒が英語で挨拶をした時の様子です。堂々と、笑顔でしっかりと挨拶ができ、大変上手だと褒めていただきました。

右の写真は、ハワイの挨拶の仕方について学んだ中で、ハグの仕方を実際に生徒同士、生徒とインターン生でしているところです。ハグには三種類あるということをお教えいただきました。



ハワイの文化について、英語と、流暢な日本語を交えて分かりやすく説明をしていただきました。中でも、ハワイ語での魚の名前を教わったり、クイズに答えたりして、正解すると歓声や明るい笑い声が響きました。



この写真は、この授業のためにお二人が練習して披露していただいたフラダンスです。夏川りみさんの「涙そうそう」のメロディに英語の歌詞がついた曲で、親しみ深くみんな聞き入ってうっとりしていました。

下の写真は、その後、簡単な踊りを教えていただきみんなで練習している様子です。



ハワイ語の歌にも挑戦しました。慰霊のための歌も教わり、授業の後、お二人がえひめ丸慰霊碑の前で献花をされる際に、一緒に歌を歌い、全員で黙とうをしました。



ハワイの伝統的な慰霊の歌を歌っているところです。この歌を歌う際には輪になって手をつないで歌うのだそうです。ハワイ語で難しいながらも一生懸命心を込めて歌っていました。



最後に記念撮影！テレビ局の取材も行われ、参観者もある中、最初は緊張気味だった生徒たちも、徐々にリラックスでき、終始和やかなムードの中、交流を終えました。

生徒からも来校者からも笑い声や笑顔があふれ、会場は大変盛り上がり、有意義な素晴らしいひとときでした。素直で明るい海洋技術科2年生のひたむきに努力できる姿勢や雰囲気の良いさを改めて感じる事ができました。カラさんとコートニーさんにもそれが十分伝わり、本当にとっても楽しかったと喜んでいただきました。素晴らしい交流でした。

航海では困難も多いと思いますが、9月に向けて徐々に気持ちを高め、この交流のことを思い出しながら、素晴らしい遠洋航海実習にしてほしいと願っています。心から応援しています。